



効果的に脳卒中予防

総合的な予防、治療、リハビリ・療養体制を

市立長浜病院では、脳卒中の予防、治療、リハビリ・療養に一貫した体制を整え、対応しています。昨年10月に日本経済新聞などが行った調査では、その総合的な取り組みが評価され、全国で最高評価を受けた29の病院の1つに選ばれました。今回は、脳卒中に関する取り組みをご紹介します。

脳卒中とは

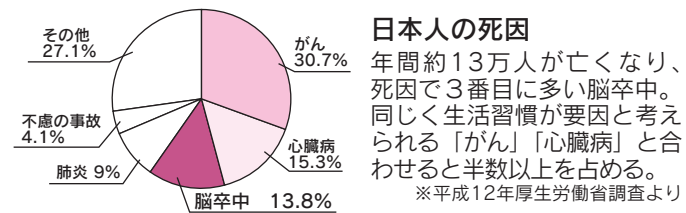
脳の血管が詰まったり、破れたりして起こる脳血管障害の総称で、日本人の死因では、「がん」、「心臓病」に次いで3番目に多い病気です。

主に、「脳梗塞」「くも膜下出血」「脳出血」の3つがあり、半身マヒや言語障害などの後遺症で、要介護状態になる原因として最も多い病気です。そのため、いかに予防、治療、リハビリ・療養を行うかで、その人の生活が大きく左右します。

予 防

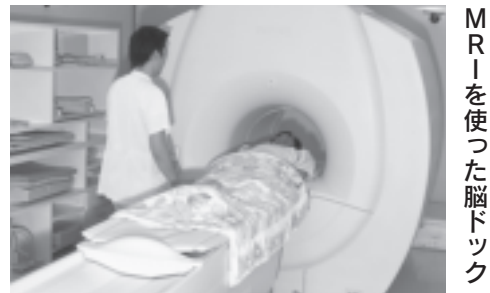
生活習慣を見直し定期検査

脳卒中の主な原因に、高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、心臓病があげられます。これらの症状が複数あるほど発症率が高く、ふだんの健診でチェックし、生活習慣を見直すのと同時に、脳卒中の兆候がないか、定期的に検査することが必要です。



専門機器を用いた検査と予防啓発

市立長浜病院では、健診センターでの健診のほか、MRI（磁気共鳴画像装置）による脳の断層像や血管像を用いたドックを実施しています。またホームドクターの役割を担う開業医や、市民への普及啓発を行う健康推進員を対象に講演会を実施するなど、脳卒中の予防をサポートする取り組みを行っています。



MRIを使った脳ドック

治 療

迅速に専門的な治療を

万が一、脳卒中を発症した場合は、いかに早く治療を行うかで、その効果は大きく異なります。血管が詰まる脳梗塞の場合には、発症後3時間以内の投与で、血のかたまりを溶かすのに有効な新薬「tPA」を用いた治療が始まっています。

そのため、まずは搬送する救急隊員が、脳卒中であることを正確に判断し、適切な処置と搬送を行って、円滑な治療につなげることが大切です。また、受け入れ病院も専門的な検査・診断・治療が迅速にできる体制をとることが求められています。



救急隊と連携した専門スタッフによる治療

救命士との連携と専門スタッフの確保

市立長浜病院では、速やかな搬送と治療が行えるよう、救急隊と連携した研修や検討会を実施しています。また、院内でも脳神経外科や神経内科などが連携し、脳卒中に関する専門スタッフが24時間対応できる体制を整えています。

リハビリ・療養

早期のリハビリと退院後のケア

病状が安定したら、できるだけ早くリハビリを始めることが必要です。残された機能で、どれだけ自立できるかにより、その後の生活は大きく変わります。退院後はその状態にあったサポートが必要になります。そのため、在宅ならホームドクターとの関わりや介護者の支援、バリアフリーの整備などが、療養施設なら様々なニーズにあったサービスが必要です。

療養施設の併設と地域連携の推進

市立長浜病院では、すぐに在宅療養が困難な患者さんのために、療養病棟を併設し、専門スタッフによるリハビリを行っています。また、退院後の相談に応じるため、専門資格を持つ社会福祉士を配置しているほか、介護サービス機関や開業医などと連携し、地域全体でサポートできるように努めています。



退院後の相談に社会福祉士が対応

しかし、まずは予防と早期治療が大切です。定期的に健診を受けながら生活習慣を改善し、兆候を感じたらすぐに受診してください。

夕方になるとアゴが出ていませんか???



市立長浜病院形成外科 中村 哲 郎 先生

夕方にアゴが出る！？ そんなことあるの？と思う方がいらっしゃると思いますが、実はあるんです。その原因は「うまぶた」です。人は生まれて

からずっと重力の中で生きているため、皮膚は生きている年数の分だけ伸びてきます。うまぶたも、年齢とともに下がってくる(広い意味での眼瞼下垂という状態)ので、朝はおでこにしわを寄せ、まぶたを上げようとがんばりますが、お酒を飲んだ時や夕方になると疲れてきて、目が開きにくくなります。そのため、今度はまぶたの隙間から何とか覗こうと自然にアゴが出てくるわけです。まぶたが重いと知らない間にストレスがたまり、人を見下ろすような姿勢になるなど、様々な影響が出てきます。原因には、加齢によるものの他に、まぶたを上げる筋肉が弱る病気の場合もあり、その程度、原因に応じていろいろな治療があります。欧米では、多くの人が気軽に手術を受けており、市立長浜病院でも、その治療に力を入れていきたいと思っておりますので、お気軽に受診してください。

生活改善実践教室

高血圧症や肥満の克服、健康管理などを栄養士とともにご説明します。
【と き】2月15日(木)午前10時30分
【と ころ】市立長浜病院2階講堂
【対 象】高血圧症、高脂血症、肥満などで治療中の方や家族
【講 師】琴浦良彦(市立長浜病院長)
【準備物】筆記用具
※なるべく、最近の健診結果(体重、身長、腹囲、血圧、総コレステロール値、LDLコレステロール値、空腹時血糖値のメモ)などを持参ください。

お申込みは、市立長浜病院看護科長室窪田(☎6512)へ。



所在地 長浜市益田町55-1 (びわ北小学校北隣)
施設内容 診療所、医師住宅、車庫など(土地付き)
※売却価格など詳細は、2月中旬に市ホームページに掲載予定

お問合せは、市保険年金課(☎6512)へ。

診療所の運営者募集
びわ診療所を売却

公設の診療所として運営してきたびわ診療所を今年3月末で廃止することになりました。今後は、新たな診療所として再活用したいと考えていますので、この施設を購入し、新たに運営していただける方を募集します。